

どの子も「珠算式あんざん」のできる子に!

創立70年大阪山本速算会



まぼろ

発行：大阪山本速算会事務局(大西信二)
大阪府守口市大久保町5-7-9

そろばんは記憶力・集中力を高め脳トシ!

諏訪東京理科大学教授 篠原 菊紀 先生



脳には運動野と呼ばれる場所があり私達の運動をコントロールしています。中でも手に対応した運動野は大きな部分を占めており、手の指は脳の広い範囲を活性化されます。

そろばんは聞き取りながら、また数字を見ながら、指で珠をはじき、この動作は脳を刺激します。読み上げる問題を聞き取るにより聴覚を使い、見取算の問題では視覚を用するので、脳の運動野とともに視覚野・聴覚野も使われます。読上算にしても見取算にしても数字を瞬間に記憶して

そろばんをはじきますので記憶力の向上につながり、暗算力も養います。電卓では数字を瞬時に記憶することがないので、脳を活性化することにはなりません。そろばんの計算は指だけでなく、目・耳も同時に使って脳の本格的なトレーニングです。また、そろばんでの計算は意欲的にやる気と向上心をもって行なうことが何よりも肝心です。そのことにより、脳は活性化されて記憶力や集中力が高まってくるのです。

実験でそろばんをはじくと

によって、脳の血液が増加し活性化することを確認しました。(脳科学者・脳神経科学者)

第二学期
十月 入学受付中

◇入学日・十月一日～十日
◇入学資格・年長児から



珠算・暗算検定試験

十月二十六日(土)

試験場・大阪山本速算会

珠算・暗算段位試験

十月二十七日(日)
試験場・商工会議所

【教育ひとくちメモ】



個人差を認めながらお子さんを育てましょう。

「姉は早くできるのに、あなたはなぜできないの!」上達の遅い子が母親に叱られている。器用な子・不器用な子・覚えの早い子・遅い子など、人にはいろいろなタイプがあり、上達の段階も人によって違います。上達の遅い子が急にのびる子もいれば、順調に上達していた子がある時期に足ふみするなど、上達の状況は、それぞれ異なるのに、みんなと同じように進歩しなければ、無能だと判断するのは辛い事ではないでしょうか。他の子と比較して指導してはいけません。その子が持っている能力と、その子が行っている過程を比較しなければいけません。そうすれば、どの子もほめて指導することが出来るのです。

そろばん学習では各生徒の能力に合った級の問題を練習し、上達し、次のステップとして次の級の問題にすすみます。この過程で、その子どもなりの頑張りが評価され、ほめられたり、励まされたりすることで、技術や才能も伸びていくものです。また、同じように上達している子どもでも、もっとできる能力を持つ子が手を抜いていけば、反対にハッパをかけるために、叱ることもあります。

人を育てる立場にある者は、子どもの能力を見極めつつ、その能力が十分に発揮されているか、上達段階に応じて指導していききたいものです。

ソロバンクイズ No.717

タテ・ヨコ・ナナメ上の4つ数の和は2002です。

	500	502	507
506	503		496
499	494	508	
504		495	498

493から508まで数字を使つての計算です。

空欄に数字をうめてください。



できた人は10月10日まで提出してください

なまえ